

# セミナー開催後 レポート

国籍を問わず、すべての就労者を守ることは「当たり前」。採用を増やせば、リスクやトラブルが増えることも当たり前と言えるでしょう。ですが、それらすべてを企業のご担当者様が背負うことは、当たり前ではありません。就労者を守る人事ご担当者様にもサポートが必要です。

海外人材の生活サポートを初め、キャリア形成やトラブル解決の豊富なノウハウを持つ、株式会社カムテックが、国際行政書士を講師に迎えて外国人材の活用ノウハウや事例を詳しくお伝えするセミナーをWEBで開催いたしました。

2021年1月22日に開催されたセミナーの様子をレポートでご紹介いたします。

■海外人材活用の各種対応やトラブル解決を学ぶセミナーに25名が参加！

## 海外人材採用における 企業が抱える問題と解決

キャリアアセットマネジ株式会社

**CAM**  
CAREER ASSET MANAGE INC.



当日はWEB開催のイベントに25名の採用担当者様にご参加いただきました。

技能実習生、特定技能をはじめとする外国人雇用は増加の一途をたどり、今後も増加し続けることが予想されます。外国人材を活用する際に生じる「言葉の壁」「文化の壁」「心の壁」をどのようにクリアしていくのかという課題は、今後ますます重要性を増していきます。

セミナーに参加された企業は、現在外国人材の活用を進められている企業から、今後の活用を検討されている企業まで様々で、このテーマへの関心の高さを感じられました。

## ■外国人材に必要とされるサポートとは？事例を挙げてご紹介

当日は国際行政書士・片平法務経営事務所【片平勇介】氏と、外国人材のサポートサービスを提供しているカムテックから【鮫島慎吾】がスピーカーを務めました。

外国人雇用の制度や課題について具体的な事例に触れてご説明しました。

### < 在留資格『特定技能1号・2号』について >

#### ◆在留資格『特定技能1号』

- ① 特定産業分野に属する**相当程度の知識**  
**又は経験を必要とする技能**を要する業務に従事する外国人向けの在留資格
- ② 特定産業分野**(14分野)**とは  
→ 介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、建設、造船・舶用工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業
- ③ 在留期間は、1年、6か月又は4か月毎の更新で、通算で**上限5年まで**
- ④ 技能水準は試験等で確認(技能実習2号修了者は試験免除)
- ⑤ 日本語能力水準は、生活や業務に必要な日本語能力を試験等で確認(技能実習2号修了者は試験免除)
- ⑥ **家族の帯同を基本的に認めない**
- ⑦ 受入れ機関又は登録支援機関による**支援の対象**
- ⑧ 特定技能2号への移行→**技能水準を確認する試験に合格すること等で移行**

#### ◆在留資格『特定技能2号』

- ① 特定産業分野に属する**熟練した技能**を要する業務に従事する外国人向けの在留資格
- ② 該当する特定産業分野 → **建設、造船・舶用工業のみ**
- ③ 在留期間は、3年、1年又は6か月毎の更新
- ④ **家族の帯同は、要件を満たせば可能(配偶者、子)**
- ⑤ 受入れ機関又は登録支援機関による**支援の対象外**

# 具体的事例

## 休日、夜間にトラブル



- ・ 外出先で道に迷ってしまった。
- ・ 自転車がパンクしてしまった。
- ・ 職務質問にうまく答えられず、大ごとになりそうだから助けてほしい

## 付き添いが必要

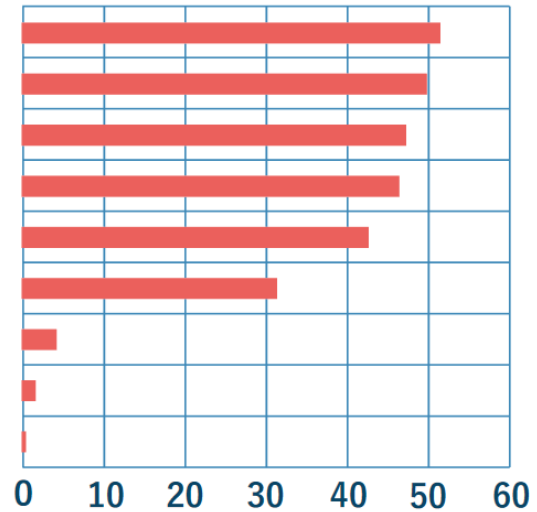


- ・ 体調を崩したが病院が分からない
- ・ 病院で症状をうまく伝えられない
- ・ 行政手続きを行いたいが書類が読めない
- ・ 携帯電話を契約したい

## あると嬉しいと回答されたサポート

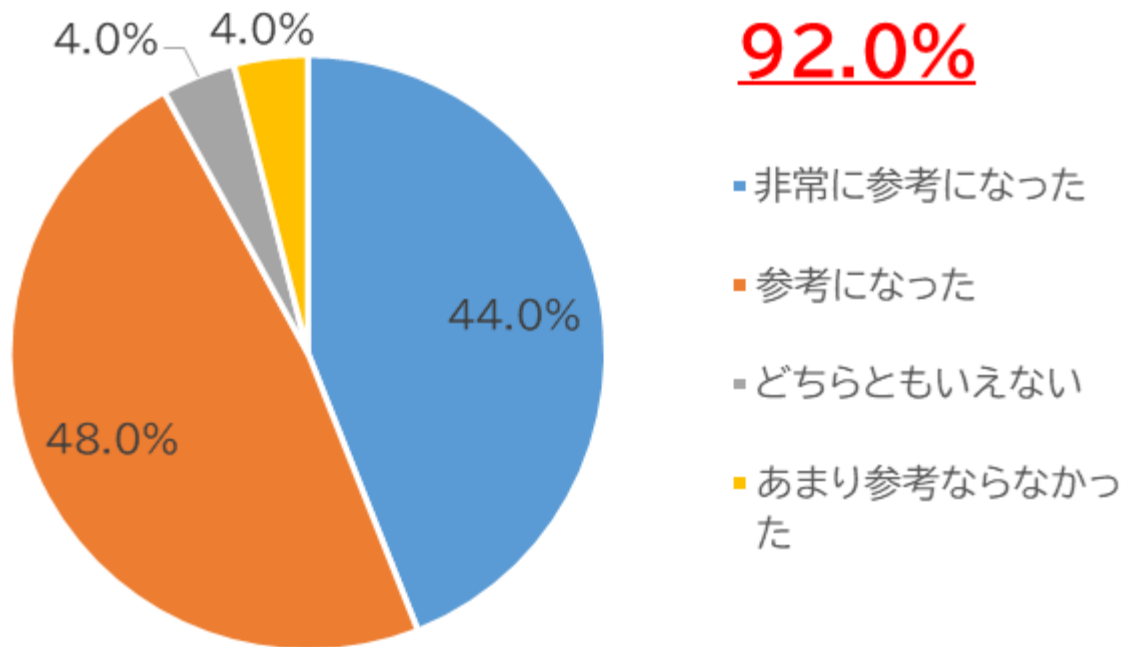
10年近く受入されて活用経験の多い企業様や、これから新たに雇用を検討されている企業様が希望されているサポート内容は以下の通りです。

休日、夜間にトラブルが起きた時の代理対応  
通院時等の付き添いサポート  
住居の検索・契約、備品の購入などの代行  
日本語教育や日本語検定試験の申込代行  
転入手続き、アパート設備・注意事項説明  
通勤経路や近隣の買い物施設の案内  
特になし  
自社対応なので満足  
技能検定教育、試験代行



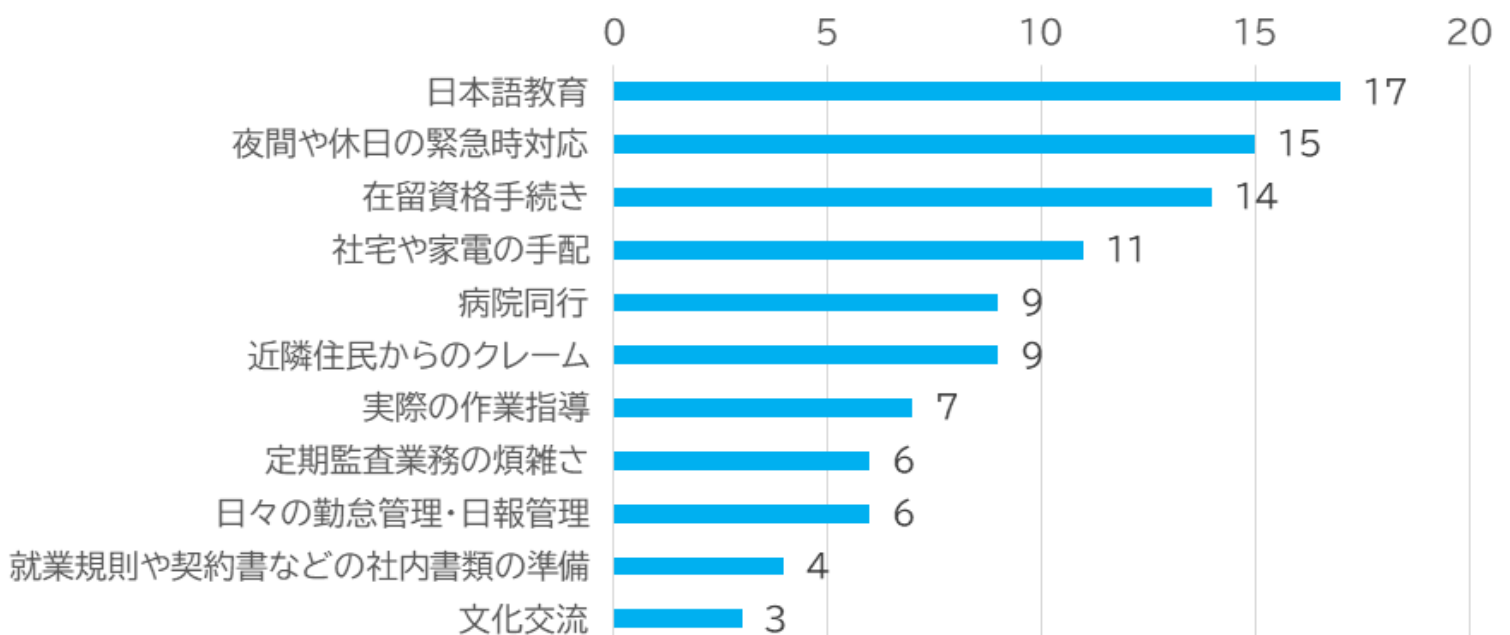
■満足度 92.0%！具体的な課題感も質疑応答でお答えしました

## セミナーの満足度



参加された方の満足度は92.0%で、皆様セミナーの内容から得るところがあったようです。

## 外国人材活用で課題に感じていること(複数選択可)



外国人活用を既に進められている企業様20社に「外国人材活用で課題に感じていること」を伺ったところ、「日本語教育」



「夜間や休日の緊急時対応」を挙げる声が多く、その他の課題も主に日本での生活やコミュニケーションギャップに関するものでした。

参加された方のご意見は以下のようなものがありました。

「コロナの影響で技能実習生が入国できないので特定人材の活用も考えたい」

「現場でのコミュニケーションについて対応策をもっと詳しく知りたい」

「現在は活用の予定がないが長期的に必要ななるのもっと情報が欲しい」

より詳しい内容をお求めの声も多く、今後のセミナー企画の参考にさせていただきたいと思います。

## ■注目のGMSセミナー

カムテックでは海外人材マネジメントサービス【GMS】のセミナーを定期的を開催しております。より具体的、現場に即したテーマで開催して参りますので、ぜひご参加ください。

<https://gms.ca-m.co.jp/archives/seminar>